

学会彙報

○研究発表会（六月七日）

「アーラヤ識と習気について」

博士課程 氏家昭夫氏

「華嚴入法界品における弥勒善知識の意義」
山田亮賢教授

出席者 横超、舟橋、安井、桜部、坂東の諸先生、ほか学生など十三名。

○雲井教授と桜部助教授は八月初旬、ミシガン大学の国際東洋学者会議に出席のため渡米された。（この会議の報告は本号に掲載した通りである。）雲井教授は引き続きヨーロッパ各地を歴訪され、十月下旬帰朝された。

○十月三十一日

一、研究発表

「漢訳維摩經の読み方二、三」

安井広済教授

二、桜部助教授学位祝賀

三、白土講師帰朝歓迎

出席者 横超主任教授以下多数。

編集後記

本誌の秋季の刊行は十月となつていますが、今月の刊行はとうとう年末にまで遅延されてしまった。この責任はすべて編者にあり、会員、読者各位に陳謝したい。

今号には山口益先生の「チベット佛典について」という玉稿を掲載することができた。これは、先生が日本学士院で行なわれた御講演であり、チベット佛典の内容及びその成立の歴史的背景について詳しく論じておられる。

本誌の特徴の一つは、学問に対する批判をますますわが国にも育てるために書評を重視することにある。会員の諸先生の著書を内部の諸先生が批評する場合、とかく公平な批判を欠くものである。それ故雲井昭善教授の新刊書に対して前田恵学先生から書評を書いていただいた。先生には御礼申し上げたい。

今号には予想以上多くの原稿が寄せられ、編集子にとっては大きな喜びであつた。だが、一回に掲載されることを意図

に書かれた論文を、編集の都合上、次号にわたって掲載することになり、一部の執筆者に御迷惑をおかけしたことをお詫び申しあげたい。
(長崎)

佛教学セミナー 第6号

昭和42年10月25日 印刷
昭和42年10月30日 発行

¥ 200

編集
発行

大谷大学佛教学会
発行者 舟橋一哉
京都市北区小山上総町22

印刷

中村印刷株式会社

発売所

文栄堂書店
京都市中京区寺町通三条上ル番
替京 2948
電 話 4712